

長崎市中央公民館指定管理者制度導入効果について

1. 指定管理者の概要

施設名	長崎市民会館
指定管理者 の名称	株式会社 NBC ソシア
指定期間	平成28年4月1日～平成32年3月31日（5年間）

2. 決算額の推移

(1) 中央公民館

中央公民館	27年度 (制度導入前)	28年度	29年度	30年度 (見込み)
収入額 (1)	4,265,357 円	4,843,920 円	4,843,920 円	4,843,489 円
支出額 (2) (28年度から：指 定管理委託料)	32,009,550 円	31,531,205 円	30,407,924 円	28,867,769 円
収支額 (1) -2)	▲27,744,193 円	▲26,687,285 円	▲25,564,004 円	▲24,024,280 円

(2) 市民会館

市民会館	27年度 (制度導入前)	28年度	29年度	30年度 (見込み)
収入額 (1)	52,992,947 円	208,868,528 円 (60,118,528 円)	209,442,602 円 (60,697,093 円)	208,093,464 円 (59,345,755 円)
支出額 (2) (28年度から： 指定管理委託 料)	105,050,608 円	208,868,528 円	197,986,755 円	194,799,850 円
収支額 (1) -2)	▲52,057,661 円	0 円	11,455,847 円	13,293,614 円

3. 指定管理者の主な取り組み

(1) 民間事業者の活力を生かしたサービスの向上について

中央公民館の地域やネットワークを活かした講座を企画・開設して文化的教養の向上に努めている。

- ① 情報の発信：公民館の存在、役割を知ってもらう（マスコミ、HP・FB、中央公民館だよりなど）
- ② 居場所づくり：身近で集まりやすい、使いやすい施設として活用度を高める（提案型公民館）
- ③ 学びの質：講座の対象区分や目的を明確にした講座を開設する（夜、土・日曜日の開講）
- ④ 地域の活性化：風情がある景色や歴史があるエリアを活かす（いちよう並木フェスタ開催）

(2) 事業計画について（平成30年度 実績）

社会的課題、地域性、対象者の年齢や性別などバランスを考えて偏りがない講座の編成をしている。また、自主学習グループへの指導・助言を行い公民館講座から自主学習グループが立ち上がるように努めている。

・講座：春、秋の講座。冬の特別講座。夏休み子ども講座。長崎のまちが好き！誇り！思いを育て、まちづくりにつなげる講座

* H30 年度実績（全 87 講座、382 回、11,533 人）うち新設 25 講座 カズオ・イングロに関する講座など

* H29 年度実績（全 84 講座、367 回、10,833 人）うち新設 22 講座

* H28 年度実績（全 79 講座、355 回、9,661 人）

* H27 年度実績（全 67 講座、262 回、7,450 人）

★講座数、回数、受講者数ともに前年実績を上回っている。

・公民館ボランティア：ボランティア会議年間 5 回開催。H31.3 月ボランティアスキルアップ会議開催。登録 10 名。東洋医学で食養生、いつもの食材でできる手軽な薬膳料理、スカーフ・マフラーコーデ術を初めて企画した。

・自主学習グループ会議：グループ代表者会議年間 2 回開催。懇談会年間 1 回開催。現在 47 団体。

・中央公民館運営協力委員会：年間 2 回開催。委員数 11 名。

・中央公民館まつり：11 月 24、25 日開催。来場者数：展示会場 1,604 人、舞台 1,092 人、他 184 人
総計 2,880 人（前年比+382 人）

* H29 年度 中央公民館まつり：11 月 25、26 日開催。来館者数：展示会場 1,576 人、舞台 716 人、他 206 人 総計 2,498 人。

・長崎市民会館いちよう並木フェスタ：11 月 17 日開催。来場者数：4,116 人 内容：長崎市長が語るカズオ・イングロの魅力、太極拳体験、いちよしの和菓子作りなど。

(3) 受講しやすい講座の取り組み

① 様々な世代が参加：平成 30 年度は新しく 25 講座を開設

② 受講しやすい：土・日曜日（16 講座）、夜間講座（18 講座）計 34 講座を開設

* H29 実績：土・日曜日（17 講座）、夜間講座（10 講座）計 27 講座を開設

中島川橋紀行／歴史にみる人々の暮らしとまちづくり	「赤い花の記憶天主堂物語」上映会
西洋料理発祥の地長崎／草野丈吉一代	長崎くんち傘鉾の変遷
NBC ラジオが伝えた長崎／長崎県民暮らし	ながさき深夜 1 長崎のミステリー作家
長崎和菓子事始め／長崎と和菓子のかかわり	かわち家のチンドン大冒険
市民ミュージカルで学ぶ長崎の世界遺産	のざわのりこ「長崎に来ちゃった」メモ話し
つながる出島／長崎とつながる架け橋	DEEP 樺島～移住者が見た樺島の魅力～
魚の美味しい町長崎／手軽でおいしい料理のレシピ	キャバレーから文化が育った

長崎歴史めぐり／長崎の花街	タウン誌的視線で街を観て歩く
長崎新聞を知る。その読み方と活用法	子どもくち塾～出島町の阿蘭陀船～
長崎、秋の居留地恋さるく／居留地の役割	眼鏡橋を絵に描こう
長崎くち入門／くちの歴史やしぐみ	親子歴史散歩～龍馬が歩いた長崎～
映画はもっと楽しめる「母と暮らせば」から見る長崎	親子で長崎の和菓子作りを楽しもう

*春・秋・冬講座 * 崎陽雑講 * 夏休み子ども講座

③ 公民館講座に関心のある市民へ届ける情報発信：メールを活用した講座申込み・・・年間 12%、「広報ながさき」公民館講座の説明会を開催 H30.3 月、9 月、H31.3 月

4. 導入効果・成果のまとめ

・現在職員 5 名：館長（兼務）1 名、マネジャー1 名、講座担当 3 名

* 直営時 10 名：兼務 6 名、嘱託 4 名

・財政的効果：収入 H27・・・4,265,357 円→H30・・・4,843,489 円 578,132 円増
支出 H27・・・32,009,550 円→H30・・・28,867,769 円 3,141,781 円減

・講座数増加（8 増加し 87 講座を実施）

・講座参加者数増加（1,872 人増）

・長崎の魅力発信をテーマとした講座をタイムリーに開催。

* 5 月「カズオ・イシグロの世界～心のふるさと長崎～」：遠い山なみの光（作品解説）、読者対談、音楽鑑賞、映画会「日の名残り」・・・参加者 437 人

* 11 月「カズオ・イシグロ小説への誘い」：名誉市民章贈呈式写真展、長崎市長が語るカズオ・イシグロの魅力（本人からメッセージ）・・・参加者 1,459 人

* 人が多く集まる「ココウォーク」で出前講座を開催

・メールを活用した講座申込みや、春、秋講座の説明会を開催し、利用者増を図っている。（スマホ世代）

・中央公民館まつり及び市民会館いちょう並木フェスタを開催。

* いちょう並木フェスタ：市民会館の施設を活かした体験 & 提案型のプログラムで、市民会館の利便性と魅力を発信。長崎市長が語るカズオ・イシグロの魅力、太極拳体験、いちょうの和菓子作りバザー出店など。長崎新聞、NBC テレビ・ラジオでも告知。

（中央公民館まつり：2,880 人 いちょう並木フェスタ：4,116 人）